

2022年度 課題研究指導実施方針

教 員 名	國 方 明
指 導 分 野	本課題研究指導では、金融を題材にした実証分析の指導を行う。例えば、日本金融学会『金融経済研究』各号や小倉(2021)に、金融を題材にした実証分析が載っている。本課題研究指導の履修を希望する人は、春学期履修登録期限までに、一部分で構わないのでこれら文献を一読して、実証分析のイメージを掴んでもらいたい。 なお、実際の指導では、上記文献にこだわらず、各人の修士論文または研究調査のテーマに関連する文献を取り上げる予定である。 文献リスト： 小倉義明(2021)、『地域金融の経済学』、慶應義塾大学出版会〔新品を購入可能。本学図書館に所蔵済み。〕
指 導 方 針 （ 指 導 の 概 要 ・ 日 程 等 ）	[修士論文] 実証分析の学術論文を執筆する際に、一般的に次の作業1～作業6が必要になるだろう。 1. テーマを設定する。 2. テーマに即した先行研究を渉猟し、検証すべき仮説を設定する。 3. 仮説を検証するためのデータを収集する。 4. データを処理して分析する。 5. 分析結果を解釈する。説得的な解釈が求められる。 6. (4や5と並行して)論文を執筆する。 本課題研究指導では、上の6個の作業について指導を行う。 日程については、原則として、作業1～作業3にかかわる指導を春学期中に行い、作業4～作業6にかかわる指導を春学期終了後に行う予定である。但し、修士論文を完成させるために必要と判断する場合、この日程を変更する可能性が有る。 [研究調査] 修士論文に準じた指導を行う。